

平成19年度病害虫発生予報第8号(11月予報)

＜お知らせ＞ トマト黄化葉巻病の防除対策に関するお知らせがあります(裏表紙参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

チャノキイロアザミウマ(マンゴー)

学名: *Scirtothrips dorsalis*



成虫の体長は雌0.9mm、雄0.8mm。全体に黄色で前翅は灰色。卵期間は3～10日、幼虫期間は3～5日、蛹期間は5～7日である。マンゴー園では4～5月と10～11月に発生が多い。新梢や新葉の裏面及び花に発生し、口針を植物にさして吸汁したり、植物内に産卵して組織を傷つける。傷つけられた組織は褐変、枯死する。被害が甚だしい場合は、葉がロール化し、落葉したり、果実の表面を劣化させ、著しく商品価値を損ねる。近年、沖縄県内では、マンゴーの害虫として被害が拡大し、難防除害虫として問題となっている。野菜類、茶、カンキツ、カキなどの害虫としてもよく知られている。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くて「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。